

ジンバブエ概要



南部アフリカの中心に位置するジンバブエは、計り知れない可能性と豊かな遺産、そして戦略的重要性を秘めた国です。ジンバブエという国名は「大きな石の家」を意味するショナ族の言葉「ジンバ・レマブエ」に由来し、ユネスコの世界遺産に登録されているグレート・ジンバブエ遺跡に代表される文化遺産を反映しています。

リンポポ川とザンベジ川に挟まれ戦略的な位置にあるジンバブエは、ザンビア、南アフリカ、モザンビーク、ボツワナ、ナミビアの5カ国と国境を接しており、南部アフリカ地域への極めて重要な玄関口となっています。

ジンバブエには比類のない自然や文化の名所があり、観光業が盛んです。雄大なビクトリアの滝、グレート・ジンバブエ遺跡、手つかずの自然が残る野生動物公園は、世界中の観光客を引きつけています。国立公園では多様な生物種を保護し、国の自然保護活動を紹介しています。ジンバブエ経済は多様性に富み、資源にも恵まれており、経済の基幹である農業は、タバコ、園芸製品、トウモロコシなどの主要輸出品を生産しています。気候変動への課題に対応する強靱な政策により、この部門は支えられています。また、鉱業部門では、金、プラチナ、リチウムのアフリカトップクラスの生産国となっています。グレートダイクの膨大なクロムやプラチナをはじめ、40種類近い鉱物が埋蔵されており、ジンバブエは世界の鉱物市場にとって極めて重要な地位を占めています。農業、製薬、鉄鋼などのバリューチェーン開発に支えられ、工業化も進んでいます。ジンバブエは南部アフリカへの玄関口であり、優れた交通網を誇っています。ジンバブエの道路、鉄道、航空網は地域市場と世界市場を結んでいます。そして、教育と文化がジンバブエのアイデンティティを一層豊かなものにしています。強力な教育制度がイノベーションを支える一方、活気ある芸術文化の分野は、特に有名な石彫や工芸品を通じて世界的な評価を得ています。



©Expo 2025

ZIMBABWE
PAVILION

ジンバブエ館



ZIMBABWE
BEYOND THE LIMITS
EXPO 2025 OSAKA, KANSAI, JAPAN

限界を超える

展示コンセプト

2025 年大阪・関西万博で、ジンバブエは「限界を超えて」をテーマに世界を魅了します。ジンバブエ館は、ジンバブエの人々の強靱な力、革新性、そして無限の可能性を称えるものです。ジンバブエが、持続可能で包括的な未来を築きながら、気候変動対策、廃棄物管理、ヘルスケア、観光、ホスピタリティといったグローバルな課題に真正面からどのように取り組んでいるかをご覧ください。ジンバブエの物語は、進歩、希望、そして未来を形作る決意に満ちています。

まずは、「Experience（体験）」ゾーンから旅を始めましょう。ジンバブエの文化、野生動物、そして独創性の美しさと多様性に浸ってみてください。ジンバブエのコミュニティがどのように古からの伝統と最先端の技術を融合させ、今日の差し迫った問題に対する持続可能な解決策を生み出しているかをご覧ください。

次は「Opportunities（機会）」と「Our Future（私たちの未来）」ゾーンにお進みください。ジンバブエが旅行先や投資先としてグローバルに急成長を遂げている理由、多様な商品やサービスの供給国である理由を探ってみてください。意義あるパートナーシップの可能性は無限に広がっています。

可能性の概念を塗り替える国、ジンバブエの姿に触れてみてください。2025 年大阪・関西万博のジンバブエ館を訪れ、「限界を超えて」の精神のもと、より明るい世界の未来をともに創りましょう。

受け継がれる遺産とレジリエンスの精神

「ジンバブエ」という国名は、ジンバブエの豊かな歴史と文明の証であり、同国南部にあるグレート・ジンバブエ遺産に由来します。大囲壁グレート・エンクロージャー（グレート・ジンバブエ）は、サハラ砂漠以南のアフリカで最大の古代建造物であり、偉大な功績、革新、協力、発展、繁栄の豊かな遺産を象徴する記念碑としてそびえ立っています。ジンバブエは、グレート・ジンバブエ遺跡が建設される以前の紀元 1100 年頃から、経済・政治・社会システムを備えたアフリカの後継国家群の中心でした。しかし 19 世紀後半、イギリス南アフリカ会社を通じてイギリスによる侵略と植民地化がなされ、その流れは断たれました。その後、先住民による長年の闘争を経て 1980 年 4 月 18 日、約 90 年ぶりに独立を回復しました。



温かなおもてなしと忘れがたい経験

ジンバブエは南部アフリカの中心に位置する非常に平和な国で、豊かな文化があり、人々は友好的です。あなたの訪問はきっと特別なものになるでしょう。ジンバブエは、国際的に高く評価されている観光地として名を馳せています。観光、サファリ、野鳥観察、キャンプ、急流下り、ジップラインやバンジージャンプなどのスポーツ、狩猟、釣り、湖や川でのボートクルージングなどを楽しめます。観光業は国の経済成長の柱であり、国民所得と雇用に大きく貢献しています。手つかずの自然が残る保護地域には、100 種以上の動物と 400 種以上の鳥類が生息し、豊かな生態系を誇ります。ジンバブエの人々は親しみやすい国民性で知られており、訪れる人々は心からの温かい歓迎を受けます。



成長し続ける強靱な経済

農業と鉱業は公式 GDP に最も貢献する部門ですが、中小企業や非公式ビジネス部門も、貿易、零細産業、商品生産で活発に活動しています。気候変動によって激化した混乱にもかかわらず、ジンバブエ経済は依然として農業に支えられており、農業部門を強靱にし、

食料自給率を向上させ、食料不安を軽減し、経済を好転させるのに役立つ確固たる政策枠組みに支えられています。

ジンバブエは、金、プラチナ、ダイヤモンド、リチウム、石炭、クロム、ニッケルなど、60 種類もの貴重な鉱物が豊富に埋蔵されている鉱物資源国です。ジンバブエの多様な地質景観は、アフリカの鉱物産出国トップ 10 に入るなど、世界の鉱業地図でも重要な位置を占めています。ジンバブエの地質構成は、グリーンストーンベルトとグレートダイクという 2 つの顕著な地形によって特徴付けられます。



ジンバブエ:アフリカをつなぐ戦略的物流の要衝

ジンバブエは南部アフリカの道路・鉄道網の中心に位置し、SADC、COMESA、東アフリカ共同体（EAC）、その他の地域の人々、国々、市場を結んでいます。ジンバブエは、この地域で最も広範な回廊システムである南北回廊を通じて、モザンビーク、ボツワナ、ザンビア、マラウィ、タンザニア、コンゴ民主共和国などの国々をつないでいます。ジンバブエは、国内線に対応できる空港施設の整備を進めており、ロバート・ガブリエル・ムガベ国際空港（ハラレ）、ジョシュア・ムカブコ・ンコモ国際空港（ブラワヨ）、ビクトリア・フォールズ国際空港（ビクトリア・フォールズ）の 3 つの近代的な最新国際空港を有しています。

